

水稻生育情報 (No.5)

令和6年7月12日
茨城県 県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【生育概況】

本年の4月から7月第2半旬までの気象は、平均気温が平年より2.2℃高く、降水量は平年比105%、日照時間は平年比109%となりました。

7月10日時点の管内の水稻定点圃場における「コシヒカリ」の生育状況は、草丈は平年より高く、茎数は平年並、葉色は平年よりやや淡くなっています。幼穂長からみた出穂予測日は、平年より数日早くなる見込みです(表1)。

表1 水稻定点調査結果(7月10日現在:コシヒカリ)

調査地点	田植日 〔月日〕	植付株数 〔株/坪〕	草丈 〔cm〕	茎数 〔本/m ² 〕	葉色 〔葉色板〕〔SPAD値〕	幼穂長 〔mm〕	出穂予測日 〔月日〕
筑西市	5月6日	50	94	588	3.5 34.2	8.3	7月28日
一本松	(5月4日)	(52)	(80)	(458)	(3.9) (34.1)	(4.5)	(7月29日)
桜川市	5月8日	52	86	462	3.1 30.4	4.4	7月29日
真壁町飯塚	(5月6日)	(51)	(78)	(506)	(3.7) (33.2)	(4.0)	(7月30日)
下妻市	5月3日	46	88	538	3.6 31.6	8.5	7月21日
加養	(4月30日)	(47)	(84)	(530)	(3.8) (33.9)	(10.1)	(7月26日)

※()内は令和元年～令和5年の5カ年平均値

※出穂日は今後の天候により前後する場合があります。

【今後の管理のポイント】

1 水管理

幼穂形成期(幼穂長1~2mm、出穂25~20日前頃)から出穂期30日後(5月上旬移植で8月末まで)までは間断かん水を行い、根に十分な酸素と水分を与えましょう。なお、4月下旬~5月上旬に移植したほ場では6月末から、5月中旬に移植したほ場では7月10日頃から幼穂ができ始めています。

2 斑点米カメムシ類(図1)

7月11日に、茨城県の病害虫防除部から病害虫発生予察注意報第2号(斑点米カメムシ類)が発表されました。7月上旬現在、県西地域における斑点米カメムシ類の発生量は平年より多くなっています(県下全域においても発生量は「平年より多い」)。

●対策1: 除草による防除

出穂期の2週間前までの除草を徹底しましょう。ただし、水田内への追い込みを避けるため、出穂直前~収穫2週間前までは除草を控えましょう。

●対策2: 薬剤による防除

①不稔の発生防止 防除適期…出穂期~穂揃期

②斑点米発生防止 防除適期…乳熟期(出穂後10~15日頃)

※周りの水田と出穂期や熟期が異なるほ場では、被害が集中する可能性があるため、特に注意が必要です。早生品種では既に斑点米カメムシ類の飛び込みが集中しています。



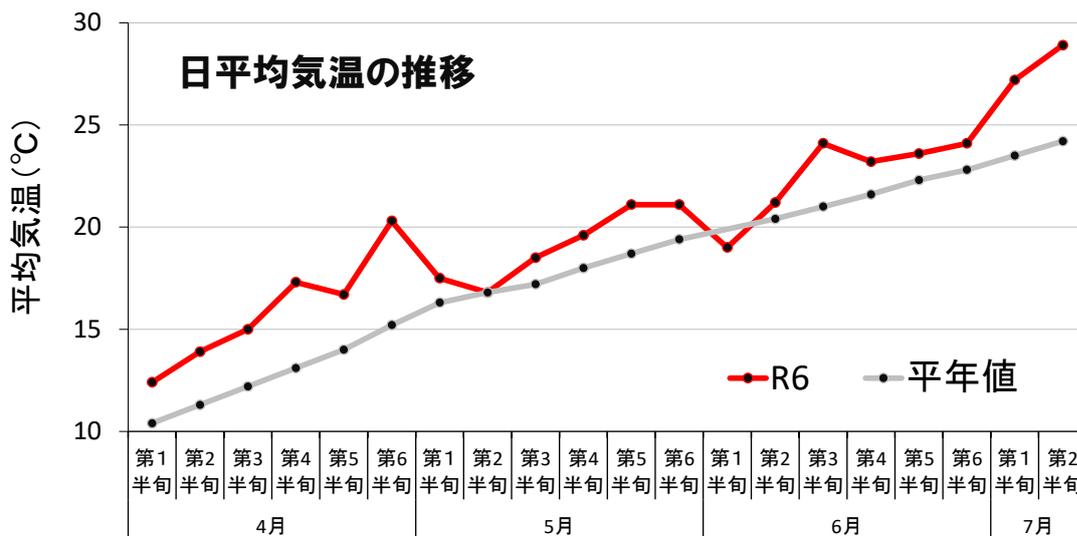
県病害虫防除部 HP はこちら
(病害虫発生予察注意報などを掲載しています)



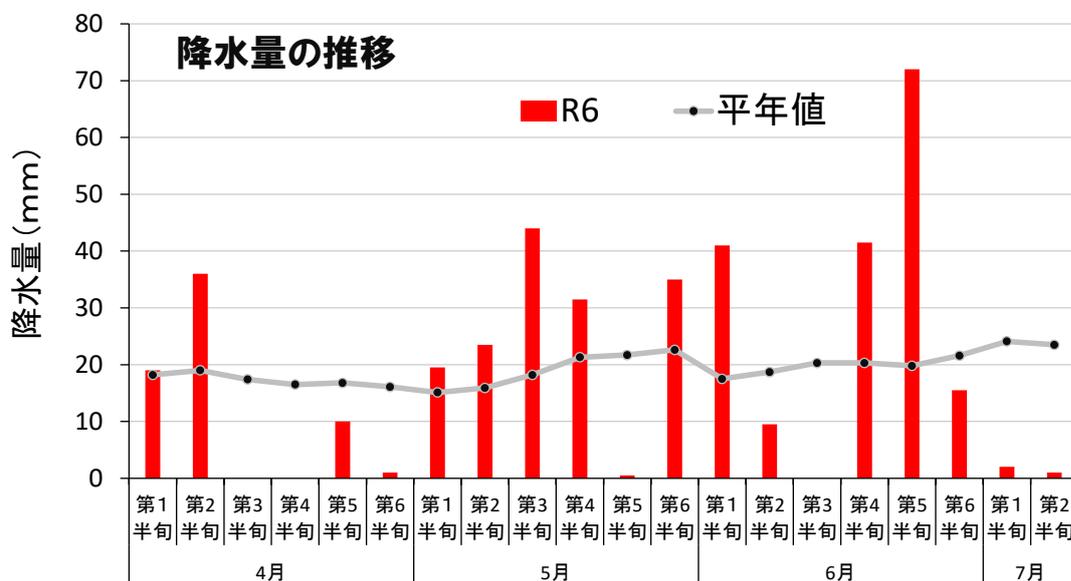
図1 クモヘリカメムシ成虫(左)、イネカメムシ成虫(右)
(県病害虫防除部、農業研究所より)

参考（気象データ：アメダス下館地点。平年値は 1991～2020 年の値。）

① 日平均気温



② 降水量



③ 日照時間

